

ゼロカーボン北海道バスツアー@鹿追町

ゼロカーボン北海道の実現に向けて、これから主役となっていく道内高校生の皆さまを対象に、ゼロカーボンの先進的な取り組みを進めている鹿追町を訪問するバスツアーを実施しました。

鹿追町のバイオガスプラントなどを見学し、エネルギーの地産地消を学んでいただくとともに、「ゼロカーボン北海道実現のためにわたしたちにできること」について、皆さんに意見をいただきました。



開催概要

● 日 時

令和5年(2023年)11月25日(土) 8:00~20:15

● 会 場

鹿追町

● 参加者数

高校生応募12名、参加9名（札幌地域6名、十勝地域3名。天候等の都合により3名欠席）

● 内 容

- ・バイオガスプラントによる家畜ふん尿の有効活用を実感
- ・水素ファームで再生エネルギーの有効活用方法を理解
- ・マイクログリッドシステムによるエネルギーの地産地消の重要性を理解



鹿追町役場の担当の方からバイオガスプラントの説明を受けている様子です。マスコミの方にも複数取材していただきました！



水素ファームの見学の様子です。発電施設から発生するメタンガスを使って製造した水素を、FCV(燃料電池自動車)に充填する様子も見学しました！



水素製造の過程で発生する温排水を利用したマンゴー栽培ハウスです。内部の温度は30℃前後。皆さん熟したマンゴーを手に取り、排熱を活用してマンゴーを育てている事に感動していました。



こちらにも温排水を利用したチョウザメの飼育施設です。一つの敷地の中での温排水の徹底した活用に感銘を受けていました。

ゼロカーボン北海道バスツアー@鹿追町



太陽光発電施設を見学後、エネルギーの地産地消を行う仕組みである「町自営線マイクログリッド」の説明をしていただきました。



見学後、北海道大学大学院の山中教授からゼロカーボンに関する講義をしていただきました。世界規模で行うべき取組や、同じ若年世代が環境問題について活動している事などを踏まえて、自分たちにできることを考えました。



行き帰りの車中では、ゼロカーボンクイズで盛り上がりました！優勝者には景品を贈呈しました。

参加者の感想(一部抜粋)

- ・再生エネルギーについて興味を持っていたが、実際に発電システムを見たり、エネルギーのその後については知らなかったなので、知ることができたというのは貴重な経験だと思った。
- ・地域間で守っていこうという思いそしてその思いを実現していく取り組み(地域循環型)に感心しました！
- ・実際に自分の目で見て、聞くことで現状を知ることができ、自分の視野を大きく広げることができたと感じた。
- ・寝るときに電気を真っ暗にしたり、使っていない部屋の電気をすぐ消そうと思った。
- ・今まで考えたことが無かった考え方を知れたり、バイオガスプラントを実際に見ることで新たな生きた知識が増え、視野が広がった。
- ・ゼロカーボンに関する基本的な知識だけでなく、脱炭素だけを目標にしない視野の広さなど学ぶことがとても多かった。
- ・自分の知らない活動がたくさんあり、ぜんぜん飽きなかった。
- ・バイオガスプラントの取り組みのマンゴー栽培や水耕栽培が興味深かった。
- ・糞尿や降った雪など、今ある資源を最大限に活かして町を活性化させていくという循環がとても良いシステムになっていると思った。